

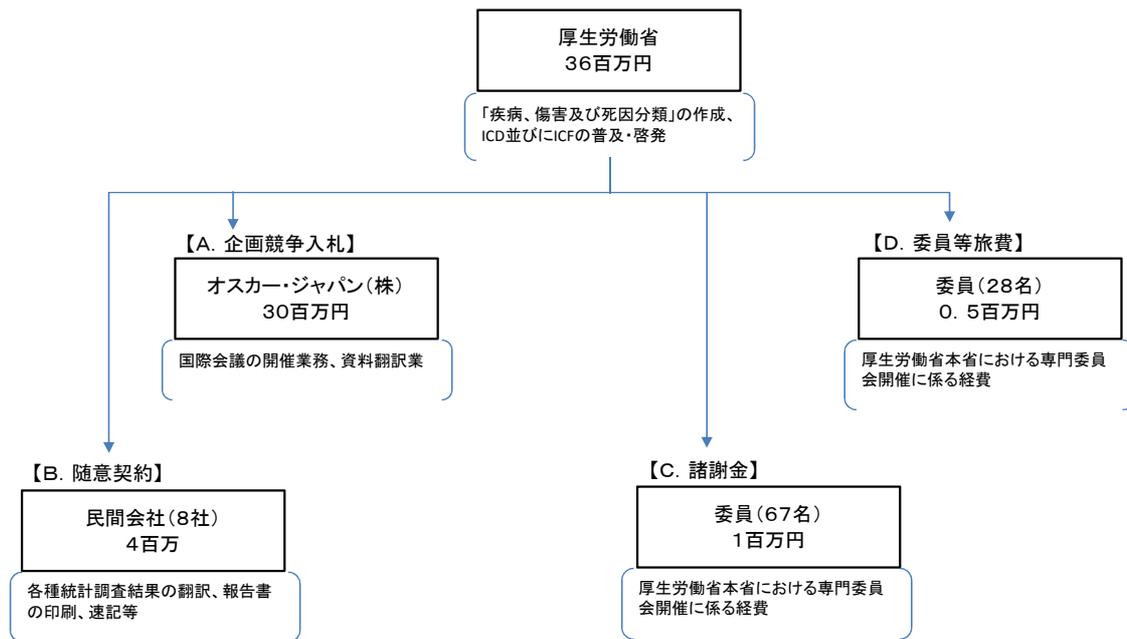
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	疾病死因分類適正化等調査費		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度		担当課室	企画課国際分類情報管理室		室長 谷 伸悦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第3条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1. WHOが勧告したICD(疾病及び関連保健問題の国際統計分類)の改訂・改正に関するWHO国際統計分類(WHO-FIC)ネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及。 2. WHOが勧告したICF(生活機能分類)の改訂・改正に関するWHO-FICネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及の検討。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」「生活機能分類専門委員会」の開催。 2. ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議の開催、WHO-FICネットワークへの意見提出及び同ネットワークの国際会議(電話会議を含む)出席。 3. ICD並びにICF普及啓発本の刊行。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	/					
		繰越し等	/					
		計	23	21	37	34	39	
	執行額	12	21	36	/			
執行率(%)	52.2	102.9	96.1	/				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ICD並びにICFの普及啓発本の刊行。		成果実績	部数	9,700	9,350	9,550	9,550
			達成度	%	100	100	100	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」(2回)、「生活機能分類専門委員会」(2回)の開催。また、ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議・国内会議(6回)の開催。		活動実績 (当初見込み)	回数	6	4 (7)	10 (14)	- (13)
単位当たりコスト	3,260,300(円/会議開催回数)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:24年度会議関係執行額(32,603千円)(※) Y:会議開催回数(10回) ※会議外の資料翻訳費等を含む。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	3	職員旅費の増 部会開催経費の増 海外会議出席登録料の増				
	職員等旅費	0	4					
	委員等旅費	0.8	0.9					
	印刷製本費	1	1					
	通信運搬費	0.4	0.4					
	会議費	0.05	0.06					
	借料及び損料	1	1					
	雑役務費	27	28					
計	34	39						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	基幹統計である人口動態統計及び患者調査に使用されており、ニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関等との調整が不可欠であり、国が実施すべき事業である。	
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	随意契約については、会計法令上認められている少額の随意契約である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最小限に限定されている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合ったものである。	
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	関係機関に配布され、十分に活用されている。	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>今後も、ICD及びICFの改訂・改正に関して、国内外の機関との調整を通し適切な意見提出を行っていくことで、国際的な寄与を果たしていくとともに、国内に向けて着実な普及活動を行っていく。また、各業務の実施に当たっては、今後も適正かつ効率的な予算の執行に努めるものとする。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	4	平成23年	4	平成24年	4

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.オスカー・ジャパン(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国際会議の開催、資料翻訳	30			
計		30	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【企画競争】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オスカー・ジャパン(株)	国際会議の開催、資料翻訳	30	1	99.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間会社(8社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・アソシエート・ジャパン	各種統計調査結果等の翻訳	0.9	随意契約	
2	統計印刷工業(株)	ICDのABC(平成25年度版)の印刷	0.9	随意契約	
3	(株)ホンヤク社	海外文献等の翻訳	0.8	随意契約	
4	国際連合大学	内科TAG国際会議の会議室	0.7	随意契約	
5	郵便事業株式会社	ICD解説書等発送費	0.3	随意契約	
6	大和総合印刷(株)	内科TAG国際会議の報告書の印刷	0.2	随意契約	
7	大和総合印刷(株)	ICFシンポジウムの報告書の印刷	0.2	随意契約	
8	扶桑速記印刷(株)	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員会 速記	0.1	随意契約	
9	(株)マスモト	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員会、企画書評価委員会 お茶	0.01	随意契約	
10					

C. 諸謝金(67名)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.07		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.06		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.05		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
6	個人F	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
7	個人G	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
8	個人H	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
9	個人I	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
10	個人J	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 諸謝金	0.03		

D. 委員等旅費(28名)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.1		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.08		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.07		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.05		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.05		
6	個人F	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.05		
7	個人G	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.03		
8	個人H	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.02		
9	個人I	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員 委員等旅費	0.02		
10	個人J	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員、ICF専門委員、委員等旅費	0.02		